

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	四国医療技術専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	医療情報学科	夜・通信	55	6	
	臨床工学学科	夜・通信	53	9	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

(<http://www.shikoku-ig.ac.jp/jyouhoukoukai/jitsumukeiken.pdf>)に掲載

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	四国医療技術専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
(備考) 2020年4月1日までに複数の学外者である理事の選任を確実に実施致します。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	四国医療技術専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画作成過程</p> <p>1月 翌年度の教科担当者を決定。</p> <p>2月 教科担当者はシラバスを作成。</p> <p>3月 シラバスは学科会において取りまとめ内容確認の後決定。</p> <p>3月末公表。</p> <p>医療情報学科、臨床工学学科において同様である。</p>	
授業計画の公表方法	(http://www.shikoku-ig.ac.jp/shirabasu.html)に掲載
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>講義、演習科目は定期試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポートの提出状況を加味した上で総合的に評価をする。</p> <p>学内実習科目は実技試験、筆記試験、出席状況、レポート提出により評価をする。</p> <p>学外実習科目は学外実習指導者からの評価(点数)を加味し評価をする。</p> <p>学則第16条の通り</p> <p>成績は100点満点とし、60点以上を合格とする。</p> <p>成績の評価は、80点以上A、70点以上B、60点以上C、59点以下Dをもって表し、Dを不合格としている。</p> <p>また学生の出席時間数が、講義・演習3分の2、実習5分の4以下の場合には、単位を認定しない。</p> <p>医療情報学科、臨床工学学科において同様である。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標として、以下の方法を行っている。 成績評価は100点満点換算にて各授業科目の平均点を算出し、指標としている。 平均点にて成績の分布状況を把握し、順位を出している。</p> <p>医療情報学科、臨床工学学科において同様である。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>(http://www.shikoku-ig.ac.jp/jyouhoukoukai/seisekihyouka.pdf) に掲載</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校は、人の生命を尊重できる温かく優しい心を持ち、愛される人(愛)、信頼される人(信)、尊敬される人(敬)の愛・信・敬を備え、広く社会に貢献できる者に対して、所定科目を履修し、卒業判定会議において卒業可と判定された下記の者に対し卒業を認める。</p> <p>① 明確な目標を掲げ、卒業に必要な単位を修得し、社会において即戦力となる者</p> <p>② 医療環境の変化において先見性、柔軟性を持ち、常に新しい知識と技術の吸収に努め、生涯学習・自己研鑽に努めることのできる者</p> <p>③ チーム医療の一員として、すべてのスタッフと連携して業務を遂行できるコミュニケーション力を備え、他者を思いやり、責任を持って行動ができる者</p> <p>卒業のための条件</p> <p>(1) 臨床工学学科は3年、医療情報学科は2年以上在籍した者</p> <p>(2) 卒業するために必要な単位(卒業所要単位数)を取得した者</p> <p>(3) 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者</p> <p>(4) 卒業判定会議において卒業可と判定された者</p> <p>卒業のための条件については新入生オリエンテーションにおいて、学生便覧等を通じて、学生に十分理解させ、周知徹底している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>(http://www.shikoku-ig.ac.jp/jyouhoukoukai/sotsugyounonintei.pdf)に掲載</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	四国医療技術専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	(http://www.shikoku-ig.ac.jp/jyouhoukoukai/taishakutaihouhyou.pdf) に掲載
収支計算書又は損益計算書	(http://www.shikoku-ig.ac.jp/jyouhoukoukai/shuushikeisansho.pdf) に掲載
財産目録	(http://www.shikoku-ig.ac.jp/jyouhoukoukai/zaisanmokuroku.pdf) に掲載
事業報告書	(http://www.shikoku-ig.ac.jp/jyouhoukoukai/jigyohoukoku.pdf) に掲載
監事による監査報告（書）	(http://www.shikoku-ig.ac.jp/jyouhoukoukai/kansahoukoku.pdf) に掲載

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	医療情報学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	90単位	62単位	42単位	4単位	単位	単位
	夜		108単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		79人	0人	3人	12人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業方法については講義、演習、実習とする。 医療機関を中心とした事務職に就くために必要な知識技能を身に付けるとともに、在学中各種資格取得を目指す。 一年間を前期（4～9月）、後期（10～3月）に分け、週間授業日は原則として月曜日から金曜日とし、土曜日は家庭学習とする。
成績評価の基準・方法
（概要） 講義、演習科目は定期試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポートの提出状況を加味した上で総合的に評価をする。 学内実習科目は実技試験、筆記試験、出席状況、レポート提出により評価をする。 学外実習科目は学外実習指導者からの評価（点数）を加味し評価をする。

<p>学則第 16 条の通り 成績は 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。 成績の評価は、80 点以上 A、70 点以上 B、60 点以上 C、59 点以下 D をもって表し、D を不合格としている。また学生の出席時間数が、講義・演習 3 分の 2、実習 5 分の 4 以下の場合には、単位を認定しない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 本校は、人の生命を尊重できる温かく優しい心を持ち、愛される人(愛)、信頼される人(信)、尊敬される人(敬)の愛・信・敬を備え、広く社会に貢献できる者に対して、所定科目を履修し、卒業判定会議において卒業可と判定された下記の者に対し卒業を認める。</p> <p>① 明確な目標を掲げ、卒業に必要な単位を修得し、社会において即戦力となる者 ② 医療環境の変化において先見性、柔軟性を持ち、常に新しい知識と技術の吸収に努め、生涯学習・自己研鑽に努めることのできる者 ③ チーム医療の一員として、すべてのスタッフと連携して業務を遂行できるコミュニケーション力を備え、他者を思いやり、責任を持って行動ができる者</p> <p>卒業のための条件</p> <p>(1) 2 年以上在籍した者 (2) 卒業するために必要な単位(卒業所要単位数)を取得した者 (3) 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者 (4) 卒業判定会議において卒業可と判定された者</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) クラス担任制 学生との定期的な個別相談・指導等の実施 保護者と連携した個別面談の実施 成績に応じた補講の実施、検定試験前の個別指導等を行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
33 人 (100%)	0 人 (0 %)	33 人 (100%)	0 人 (%)
(主な就職、業界等) 医療機関(病院、診療所、調剤薬局、歯科医院、社会福祉施設、一般企業)			
(就職指導内容) 求人情報公開、職業紹介、求人先見学指導、提出書類作成指導(履歴書等) 面接指導等採用試験受験対策指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) 診療報酬請求事務能力認定試験(医科)、医師事務作業補助技能認定試験、医療秘書技能認定試験 2 級、医事コンピュータ技能認定試験 3 級等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73 人	4 人	5.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学力		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席状況、学習状況、習熟度をチェックし、面談を行い学生の状況を把握することで中退防止に繋げている。 退学者より退学理由及び原因等のヒアリングを行い、教育方針並びに授業内容の改善を図っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床工学学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	112 単位	68 単位	25 単位	23 単位	単位	単位
			116 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		116 人	0 人	5 人	13 人	18 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 授業方法については講義、演習、実習とする。 講義、演習を中心に臨床工学技士国家試験の合格を目指す。実習では講義で得た知識をもとに実践的に技術を身に付ける。 一年間を前期 (4～9 月)、後期 (10～3 月) に分け、週間授業日は原則として月曜日から金曜日とし、土曜日は家庭学習とする。	
成績評価の基準・方法	
(概要) 講義、演習科目は定期試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポートの提出状況を加味した上で総合的に評価をする。 学内実習科目は実技試験、筆記試験、出席状況、レポート提出により評価をする。 学外実習科目は、学外実習指導者からの評価 (点数) を加味し評価をする。 学則第 16 条の通り 成績は 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。 成績の評価は、80 点以上 A、70 点以上 B、60 点以上 C、59 点以下 D をもって表し、D を不合格としている。 また学生の出席時間数が、講義・演習 3 分の 2、実習 5 分の 4 以下の場合には、単位を認定しない。	

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>本校は、人の生命を尊重できる温かく優しい心を持ち、愛される人(愛)、信頼される人(信)、尊敬される人(敬)の愛・信・敬を備え、広く社会に貢献できる者に対して、所定科目を履修し、卒業判定会議において卒業可と判定された下記の者に対し卒業を認める。</p> <p>① 明確な目標を掲げ、卒業に必要な単位を修得し、社会において即戦力となる者</p> <p>② 医療環境の変化において先見性、柔軟性を持ち、常に新しい知識と技術の吸収に努め、生涯学習・自己研鑽に努めることのできる者</p> <p>③ チーム医療の一員として、すべてのスタッフと連携して業務を遂行できるコミュニケーション力を備え、他者を思いやり、責任を持って行動ができる者</p> <p>卒業のための条件</p> <p>(1) 3年以上在籍した者</p> <p>(2) 卒業するために必要な単位(卒業所要単位数)を取得した者</p> <p>(3) 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者</p> <p>(4) 卒業判定会議において卒業可と判定された者</p> <p>単位制度と進級制度を併用する</p> <p>① 当該学年において4科目以上の不合格の場合、留年となり全ての科目を再履修しなくてはならない。</p> <p>② 2年次終了時において、1,2年次履修科目あわせて4科目以上不合格の場合、3年次に進級できず、2年次の全ての科目を再履修しなければならない。</p> <p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制 学生との定期的な個別相談・指導等の実施 保護者と連携した個別面談の実施 成績に応じた補講の実施等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	14人 (73.7%)	5人 (26.3%)
(主な就職、業界等)			
医療機関(病院)			
(就職指導内容)			
求人情報公開、病院見学指導、履歴書指導、面接指導			
(主な学修成果(資格・検定等))			
臨床工学技士(国家資格)、第2種ME技術実力検定			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
114 人	19 人	16.7%
(中途退学の主な理由) 経済、身体、学力、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席状況、学習状況、習熟度をチェックし、面談を行い学生の状況を把握することで中退防止に繋げている。 退学者より退学理由及び原因等のヒアリングを行い、教育方針並びに授業内容の改善を図っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療情報	100,000 円	800,000 円	円	
臨床工学	200,000 円	1,380,000 円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.shikoku-ig.ac.jp/jyouhoukoukai.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 現在、実施をしていないが、本年度中に実施するよう準備を行っている。 ・自己評価の結果をもとに教育課程、学生指導、学校評価等について意見交換を行う。 ・開催は原則年1回とし、反省及び次年度に向けた学校運営の改善を図る。 ・学校関係者評価の委員は、原則として企業、高等学校、在校生保護者、卒業生からなる5名以上とする。 ・学校関係者評価委員の選任は校長が行う。		
学校関係者評価の委員 学校関係者評価を確実に実施し、2020年度からその結果を公表するために委員の選任を行う。		
所属	任期	種別

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に公表いたします。
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.shikoku-ig.ac.jp/
--